

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：会計管理費

事業名 新電子調達システム（建設工事以外）構築運用事業費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

出納事務局 出納管理課 用度係

電話番号：058-272-1111（内 3223）

E-mail：c11113@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 386 千円（前年度予算額：0 円）

※うち長期継続契約対象額： 349 千円

債務負担行為限度額 : 596,000 千円（R5～R10）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	386	0	0	0	0	0	0	0	386
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

文書管理・電子調達システムは、平成16年度に稼働を開始し、その後、システム構成や機能の見直しを行いつつ、平成30年度には3度目のシステム更新を行った。現行契約期間は令和6年3月31日までであるが、使用するソフトウェアがサポート切れとなるため、継続利用は不可能であり、新システムを構築する必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、業務のオンライン化を推進する必要がある。

よって、新システム構築にあたっては、現行の少額随契に限らず一般競争入札等も含めた調達案件（建設工事以外）および、入札参加資格申請に関わる業務のオンライン化にも対応する。

(2) 事業内容

- ・他都道府県での導入実績があるパッケージシステムをベースとして新システムを構築する。
- ・電子調達システムの構築及びシステムの運用保守業務について、複数年契約（R4～R11）による一括調達を行う。
- ・大規模災害等発生時においても事務の業務継続を実現するためにクラウドサービスを利用する。

<積算>

【長期継続契約】（単位：千円）

電子入札コアシステム利用に伴うライセンス料

項目	R04	R05	R06-R10 (各年度)	計
ライセンス料	349	480	480	3,229

【債務負担行為】（単位：千円）

システムの設計、データ移行、事業者及び職員研修、クラウドサービス初期設定等の構築費用及びシステムの運用や保守、クラウドサービス利用に伴う運用費用

項目	R04	R05	R06-R10 (各年度)	計
構築業務	0	123,287	0	123,287
運用保守業務	0	0	23,873	119,365
クラウドサービス利用料	0	0	70,485	352,425
合計	0	123,287	94,358	595,077

【単年度契約】（単位：千円）

システム構築に係るソフトウェア購入費用

項目	R04	計
LGPKI 専用クライアントソフト購入費	37	37

【総事業費】（単位：千円）

R4.8（予定）～R11.3、債務負担限度額 596,000 千円（R05～R10）

契約種別	R04	R05	R06-R10 (各年度)	計
長期継続契約	349	480	480	3,229
債務負担行為	0	123,287	94,358	595,077
単年度契約	37	0	0	37
合計	386	123,767	94,838	598,343

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 (県が管理するシステムの構築及び運用費用であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料	349	ライセンス料
消耗品費	37	ソフトウェア購入費
合計	386	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

31 都道府県 (R3 年 8 月時点) で同様のシステムを導入済。

(2) 後年度の財政負担

年度	R05	R06-R10 (各年度)	計
委託料	123,287	94,358	595,077
使用料	480	480	2,880
合計	123,767	94,838	597,957

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

インターネットを利用して県の全調達案件を公開し応札することで、現行の電子調達システムが終了する R06 年度以降も、継続かつ範囲を広げて調達の効率性・透明性・競争性の向上が期待できることから、新システムの構築、安定稼働に向けた構築及び運用維持管理を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移			現在値 <small>（前年度末時点）</small>	目標 <small>（各年）</small>	達成率
システム稼働率 ※県民（事業者）側	-% (R)	99%/年	-%				

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和 3 年	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和 4 年	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>県が行う調達事務について、より競争原理を活かした調達を行い、財政負担を軽減することが社会的要請であると同時に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、業務のオンライン化を推進する必要性がある。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>入札・公開・入札参加資格申請受付、ヘルプデスク等一連の業務を一括調達することで、システムの効率化を図る</p>

(今後の課題)

<p>総合財務会計システム等他システムの関係ベンダとの連携を密にして、システムを安定して稼働させるとともに、システムの導入にあたり、利用者の研修等を充実させスムーズな移行を行う。</p>

(次年度の方向性)

<p>令和6年度からの運用開始を目指したシステム構築を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	